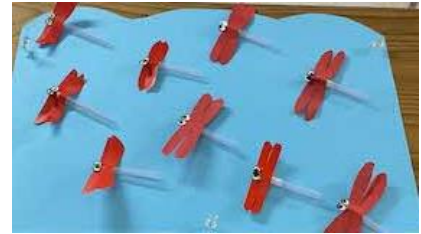




## 4年生 福祉の学習(高齢者の方への福祉について)

総合的な学習の時間で4年生は「みんなにやさしいまちのために」という大テーマのもと、色々な学習に取り組んでいます。今回は、「若葉校区の福祉について調べよう」ということで、高齢者福祉施設 ささえりあ(あさひば)とデイサービスセンターハーモニー、若葉校区 民生児童委員の方々、全員で31名の方に来校していただき、学習を深めることができました。



図書室前の掲示より(ミントの会作成)

初めに、訪問介護ヘルパーの田中さん、介護福祉士の岡村さんに介護の仕事をしよと思ったきっかけや、仕事のやりがい等をお話していただきました。

介護の仕事をはじめて2年という田中さんの話の中で、こんな言葉がありました。

「介護の仕事は大変そうと思っていたが、高齢者の方々と触れ合う中で、一人一人の高齢者の生き方や人生から学ぶことがいっぱいあって、若者である自分たちがどう生きるか、どのように年をとっていくかを考えるようになり、やりがいを感じるようになった。介護の仕事は大変なこともあるが、きつい時こそやる気がわいてくる。ただ単に掃除をする、食事を準備するというだけでなく、相手が本当に求めていることに気づこうとすることで、心に寄り添おうとすることで、学びが大きくなる。」

とても深くて意味深い言葉だと、感銘を受けました。

また、岡村さんはご家族の介護を十分にできなかったという思いから、孝行をしたいと介護の道に入られたということでした。「人と人が向きあって、成り立つ仕事である。誰かの笑顔をみることが好きだからこの仕事をしている。」という言葉に、4年生の子供たちなりに何かを感じ取っていたようでした。



体育館で車いす体験、ひじやひざを段ボールで固定した麻痺体験、アイマスクの体験、きこえの体験等を行いました。子供たちは真剣に取り組んでいました。

車いすの操作の仕方も丁寧に教わりました。



車いすに座ったまま、ものをとるのは難しいね。



坂道でも怖くないように操作した方がいいね。



見えにくくて、上手につかめないなあ・・・。



軍手をしてお箸を使うのは難しい・・・。